



男女共同参画情報誌

あなたとわたし

vol.58

性別や年齢、国籍などの違いを超え、平等にともに手を携える関係でありたいから

特集

～自分らしく輝く～

人権を「あたりまえ」に 守ることができる社会に



「あなたとわたし」デジ版について

目の不自由な方で、デジ版CD版「声のあなたとわたし」を希望される方に配布しますので、ご希望の方はお申込みください。

【問合せ】福生市生活環境部協働推進課 電話 042-551-1590

人権とは、私たちが幸せに生きるための権利で、人種や民族、性別を超えて万人に共通した一人ひとりに備わった権利です。

今回は、女性の人権にスポットを当て、女性や女児の地位向上で活躍する団体にお聞きしました。

女性や女性の地位向上に向けて 活動を行っている団体にお聞きしました



国際ソロプチミストあきる野
会長 島田しのぶさん

人は誰でも、人として尊重され、それぞれにふさわしい環境の下で人間らしく生きる権利を持っています。今日、女性の地位はかなり向上しましたが、なおも女性であることで、差別に悩み、人権を侵害されるたくさんの女性が存在します。

女性や女性の地位向上に向けて活動を行っている「国際ソロプチミストあきる野」会長の島田しのぶさんにお話を伺いました。

島田さんは、福生市で人権擁護委員としても活躍されています。

団体についてお聞きしました

国際ソロプチミストとは

女性による国際的な奉仕団体で、女性と女性の地位向上を目指し活動しています。

ユニセフ(UNICEF:国際児童基金)、ユニフェム(UNIFEM:国際女性開発基金)、WHO(世界保健機構)などへの協力を行い、国連協議資格を有する非政府組織で、内閣府男女共同参画推進会議のメンバーでもあります。

女性と女性に 焦点をあてるのは

地域社会や世界中の女性と女性が、私たちの組織も含め、助けを必要としているからです。年齢や性別にかかわらず、様々な困難を克服しなければなりません。歴史的に見ると、女性と女

児は性別が女性であるというだけの理由で大きな困難や差別にあってきました。

どのような活動を していますか

国際ソロプチミストあきる野は1995年9月7日に39名で創立しました。

地域では、あきる野市を中心に福生市、日の出町、檜原村などの社会福祉協議会と連携協力して活動する他、DVなどによる母子の緊急一時保護事業を行う「網代ホームきずな」の支援などを行っています。

国際的には、NPO法人アース・ワーク・ソサエティの協力団体として、辺境の地に暮らす子どもたちの、教育を受けたいという思いに応えた学校づくり

(用地確保、建設、提供)の支援や「テムジンの友塾」(モンゴルの首都郊外に日本人医師が私費を投じて親や家を失った孤児を救済するために開設、生活の基盤をつくり、そこから学校に通わせる)の支援など、継続した取り組みがあります。



国際ソロプチミストが向上を目指す 女性を支援する主なプログラム

「夢を生きる：女性のための教育・訓練賞」

就職あるいは再就職する女性が、より雇用条件の良い職業に就き、生活水準を向上させるために必要な教育や技能訓練を習得することを支援しています。

「夢を拓く、女子中高生のためのキャリア・サポート」

将来成功するうえで障害に直面している女子中高生を対象に、キャリア目標を追求し、その潜在能力を発揮できるよう支援しています。



活動を通して島田さんにお聞きしました

活動のきっかけは

活動が、女性・女兒に特化し奉仕活動をしているところに関心を持ったことです。入会当初は何かできるのかわかりませんでしたが、奉仕活動を通して誰かの役に立ちたいと思いました。

男女共同参画社会について どのように考えますか

「男女共同参画社会」と言われますが、現実はまだ男性中心の社会だと感じており、まずは妊娠・出産に対する理解の促進が必要だと思います。社会を変えていくには、私たち団体が根気強く訴え続けなければなりません。

支援活動を続ける上で 大切なことは

団体としての支援活動は、一人の代表に依存し過ぎると、その人が活動を止めた時には機能しなくなってしまうと思います。活動を長く

続けていくためには、支援の裾野を広げ、継続できる体制をつくるのが大切です。また、幅広く支援を行うためには、活動内容や実績などを通じて団体のことを広く周知することが必要だと思います。

取材を終えて

女性や女兒の地位向上に取り組む活動が、地域や国内のみならず、世界的な規模でも行われており、活動の幅広さを感じました。

また、誌面には書ききれませんが、支援は、受ける側の状況への配慮が欠かせないことや、多様な取り組み方があるなど、行う側の都合で進めるものでないこともわかりました。

そして、人生の様々な試練、例えば、女性であることで発言や行動の制限をされたり、暴力やハラスメントを受けたりなど、未来への希望が見えなくなるような試練に遭遇したとき、それを乗り越え新たな人生を切り開こうと決断する勇気が必要だと思います。

「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が施行されました！

～男女の候補者の数ができる限り均等となることを目指す法律です～

(平成30年5月23日公布・施行)

目的

政治分野における男女共同参画を効果的かつ積極的に推進し、男女が共同して参画する民主政治の発展に寄与すること

基本原則

- ①衆議院、参議院及び地方議会の議員の選挙において、男女の候補者の数ができる限り均等となることを目指して行われること
- ②男女がその個性と能力を十分に発揮できること
- ③家庭生活との円満かつ継続的な両立が可能となること

日本の現状は…

国民が男女半々であるにもかかわらず、議会の場に女性議員の割合が少ない状況です。

これからは…

女性・男性が共同参画することで、より暮らしやすい社会を目指します。



〈女性議員の割合〉

衆議院女性議員	10.1%
参議院女性議員	20.7%
都道府県議会女性議員	10.1%
市区町村議会女性議員	13.1%

備考 衆議院は平成30年5月9日現在………(衆議院HPより)
参議院は平成30年1月21日現在………(参議院HPより)
都道府県議会、市区町村議会は平成29年12月31日現在 (総務省調べ)

BOOK 選んでみました、この1冊！

おらの思っても見なかった世界がある。

『おらおらでひとりいぐも』



若竹 千佐子 著
河出書房新社
1,200円(税別)

本書は青春小説の対極、^{げんとう}玄冬小説(歳をとるのも悪くない、と思える小説のこと)と評される第158回芥川賞受賞作。74歳の桃子さん、故郷を捨てて上京し50年。満ち足りていた結婚生活が夫周造との別離によって体が引きちぎられるような悲しみを経験する。ひとり暮らしになった桃子さんの「大勢の人間が自分の中に同居していて、さまざまに考えている」ことが、人生のエピソードや五感を刺激する色彩・声色・においなどとともに東北弁で語られる。(田中)

生きづらさを感じたことのある方に読んでもらいたいです！

『女ざらいーニッポンのミソジニー』



上野 千鶴子 著
紀伊国屋書店
1,500円(税別)

男以外を排除することによって成り立つ社会から、女と男らしくない男は当然生きづらくなります。

そのミソジニー(女性や女らしさに対する嫌悪や蔑視)は時代によって変化するものの、根本は変わらないのです。「フェミニズムとは女にとって自分自身と和解する道だった」と本書で述べられています。男女平等を求めることは、女性であることへの嫌悪の解消に繋がり、女としての自分ではなく自分自身という人間を認められるようになるということでしょうか。「男性が自分自身と和解する道も自己嫌悪と闘うことのはずだ」と締めてあります。(波多)

広告を募集しています！ 次号は3月発行予定です(全戸配布)

「あなたとわたし」に掲載する広告を募集しています。

規格：4.5センチ×9センチ。各号2枠

広告料：1枠：15,000円

※申込み用紙は、市のホームページからダウンロードできます。
内容により広告掲載できない場合がありますので、詳しくはお問い合わせください。

問合せ：福生市生活環境部協働推進課 電話 042-551-1590

編集員を募集しています！

編集に興味がある方、何かやってみたい方！

お待ちしております！(無償ボランティア)

ご意見、情報もお待ちしています！

問合せ

福生市生活環境部
協働推進課まで！

042-551-1590

編集後記



●取材で、ふだん接点のない方のお話を伺うことは、市民編集員の醍醐味のひとつでしょうか。生活とともにあるテーマながら、初めてしっかりと向き合う必要性を実感したように思います。……[田中]

●調べものをする中で人権やフェミニズムへの理解が深まりました。……[波多]

市民編集員

○田中 直美 ○波多 佳乃 作製：(有)あっぱ印刷工房 協力：金 相範(編集)

あなたとわたし vol.58 2019年1月発行

発行：福生市生活環境部 協働推進課

〒197-8501 東京都福生市本町5番地 電話042-551-1590

<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>



再生紙を使用しています